



富山県造形教育連盟会報「糸」について
 富山県造形教育連盟は、幼・保、小、中、高の先生方が参加する、県芸術文化協会に加盟する文化振興の任意団体です。造形活動で大切にしたい発達段階という視のつながりを考えることができる研究組織です。各校種の研究団体の横糸と、県連盟の縦糸により、造形教育という織物が美しくつくり出されることを願い、会報「糸」を発行しました。本連盟の会員限定ページにて公開します。

岡田京子先生の講演を聴いて

富山県造形教育連盟 副会長 伊勢 威知郎

今年度、10月9日（水）に行われた県中教研東部地区大会（会場：上滝中学校）においてアドバイザー講師に、元文部科学省調査官で現在、東京家政大学教授の岡田京子先生をお招きして講演を行いました。岡田先生からは学習指導要領の解説や全国の小中学校を訪問した時の授業実践事例について紹介していただきました。

岡田先生は過去富山県に何度もお越しいただき、お話を伺う機会も少なくありませんでしたが、今回の講演でも新たな視点や気づきをたくさんいただきました。その中で、特に心に響いた“金言”（あくまで私が感じた、私なりの解釈かもしれませんが）をいくつか皆さんにお伝えしたいと思います。

- ・制（製）作において、子供たちは自分なりの（だけの）イメージをもつことが大切（他者からの影響や一般論ではなく）。
- ・授業において、親切のし過ぎは子供の成長を促さない。イレギュラーもひとつの学びである。
- ・教育とは“ちょうどいい”を日々見付けるもの。子供を信じてやらせてみる。
- ・ICTを有効に活用することは大切であるが、ブラックボックス化してしまうことには注意が必要（構造が分からなくても作品が仕上がってしまう場合がときとしてある）。
- ・教育はAIがしているわけではない。教師が心に余裕をもち、人として子供と対峙することが大切。

まだまだ言葉は尽きませんが、今回の約1時間の講演が、日々の業務をこなすだけで手一杯の私にとって、有意義で色鮮やかに感じる時間（刺激）となりました。岡田先生には感謝が尽きません。会員の皆さん、次回機会があれば、是非講演に参加してみてください。

実践紹介

「自分なりの『おもしろさ』を求めて」

滑川市立田中小学校 竹林 結香

第1学年「スルスル ビューン」での実践を報告します。まず全員で、教室内に張った糸を紙コップでつくった土台が滑る仕組みをつくり、滑らせて遊びました。自然と「ジェットコースターみたい」「飾り付けたい」という声の子供から聞こえました。どんどん自分の考えを色や装飾で表していく子もいれば、立ち止まってしまいう子もいました。しかし、自分なりにどうにかしようとなんとか飾りを付けてみる、友達がやっているのを真似してみるというきっかけから、「もっとこうしてみたい」とはつきりした思いをもち、どの子も製作を進めることができました。なんとなくや真似からでも、まずはやってみることが大事だと感じさせられました。つくる・遊ぶを繰り返し、試行錯誤しながら自分なりの「おもしろさ」を見だし追求する、いきいきとした子供たちの姿が見られた題材となりました。



造形教材研究会より題材紹介「わたしのモンドリアン」

富山大学教育学部附属中学校 宮田 苑佳

ピート・モンドリアンの代表作品である「コンポジション」シリーズは、限られた形や色で画面が構成されています。単純な表現だからこそ、形や色が作品全体に与えるイメージに注目することができます。

数本の線が引いてある枠（図②）を準備したり、線の引き方や色数のルールを設けたりすると、子供に製作のきっかけを掴ませやすいです。小学校高学年向けの授業として提案しましたが、発達段階に応じて子供への提示の仕方を工夫すれば、どの学年でも行えます。この題材は、他者とのやり取りによって、学びがより深まります。作者本人が無意識に表現していても、他者からの印象を聞くことで、形や色の効果に気付くことができます。相互鑑賞の際は、色の性質や働き、隣り合う形や色の関係性に注目させるとよいです。



- ①モンドリアン作《赤・青・黄のコンポジション》
- ②基本の枠
- ③子供の作品例（Google スライドで作成）

読書紹介「きょうは そらに まるいつき」作・絵：荒井良二

堀川幼稚園 波岡 伸郎

荒井良二さんの2016年の作品です。ふと見上げた空に満月を見付けると、大喜びするほどではありませんがうれしい気持ちになります。夕暮れの公園でママと乳母車のあかちゃん、バレエの練習から帰る女の子が、山の中では熊が、新しい運動靴を買った男の子が、仕事が終わった洋装店の親子が、ギターの練習をしている人が、遠い海でクジラが同じ月を見えています。特別なストーリーはありません。絵に添えられた短い文章が、更に絵を引き立てます。この絶妙のバランスが、絵本でしか表現できない世界を見せてくれていると思うのですが、みなさんいかがでしょうか。



富山県造形教育連盟の事業予定

造形教育シンポジウム（11月24日：パレプラン高志会館）

造形教育作品展（11月16日～12月1日：富山県教育記念館）

富山県造形教育連盟の活動については、ホームページにて確認ください。

<http://t-kenzouren.web.wox.cc/>

